



No. 2824

2016-2017年度

会長 松村 秀一

幹事 橋爪 誠治

R広報委員長 上野山栄作

有田

担当：中元委員

第2640地区
 例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

Rotary



人類に
奉仕する
ロータリー

～有田ロータリークラブ目標～

親睦を深め

ロータリーライフを楽しもう



次回のお知らせ

平成29年4月27日 第2826回

- ・会員卓話：川口 健太郎 君
「自己紹介」
- ・ソング：「四つのテスト」

本日のプログラム

平成29年4月20日 第2825回

- ・外部卓話：伊藤 伸介 氏 (陸上自衛隊 信太山駐屯地 三等陸尉)
「陸上自衛隊の災害派遣など」
- ・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告 (第2824例会)

開催日 平成29年4月13日(木)

点鐘 (松村会長)

ゲストの紹介 (川口親睦活動委員)

ゲスト：董涛君(米山奨学生)

米山奨学金授与 (松村会長)



4月の米山奨学金が松村会長より、董涛君へ授与されました。

会長の時間 (松村会長)

数年前のあるロータリーの会合で、入り口にガードマンがいて、一部の会員だけが会場に入場できて、大多数の会員が会場に入れないことがあったと聞いております。ガードマンはガバナーが手配したそうです。この時にはガバナーはいろんなことが出来るのだなと感心しました。ガバナーは手続き要覧に精通しておられます。中でもこの時のガバナーは英語が堪能で英語の原文も読んでおられるようでした。従って、会場に入れる会員と会場に入れない会員をガバナーが選べるとおそらく手続き要覧の中の何処かに書かれていたのでしょう。

しかしこれが良いことかどうかと思案しました。こんな時ロータリーには「四つのテスト」があります。「四つのテスト」

に照らしますと 1, 真実かどうか。たぶん真実なのでしょう。2, みんなに公平か。公平でないでしょう。3, 好意と友情を深めるか。深めないだろう。4, みんなのためになるかどうか。ならないでしょう。従って良いことでないと結論を出しました。



話は変わりますが4月9日地区立法案検討委員会に出席しました。実はこの会議の案内が出された後、会議の10日ほど前に久保治雄パストガバナーからのメールが各クラブ宛に届きました。件名は「福井隆一郎ガバナーによるRI細則違反と不作為について」でした。そして、このメールに対して岡本浩ガバナーエレクトからの意見表明のメールが各クラブ宛に届きました。それぞれのメールの内容はほぼ正反対の意見でしたが、パストガバナーとガバナーエレクトの意見はどちらも正論であると思われました。しかし、「四つのテスト」に照らしますと、軍配は岡本ガバナーエレクトに上がるのは明らかでありました。このように四つのテストはいつも役立ちます。

さて、先日の地区立法検討委員会には2640地区内の各クラブの選挙人、ガバナー、ガバナー補佐、地区幹事、パストガバナーが集まりました。ここでの議案は4つありました。

1, 2017-2020年審議会周期の代表議員と補欠議員選出の件

2, 2016-2017年度 福井ガバナーのエレクト期間決算報告の件

3, 日本のロータリー100周年基金の件

4, RIJYEC参加についての件

すべての議案は賛成多数で可決されました。最後に豊澤氏がガバナーエレクトの時にPETSと地区研修協議会の費用を徴収し、それを開催したが決算報告がなされていない

のは問題だとの意見がでました。具体的には約600万円を地区資金としてクラブから集めました。その後PETS・地区研修協議会が開催されました。その費用はおそらく100万円ぐらいの支出であったと思われ、約500万円が残っていると思われ。辻パストガバナーがこの決算を行うよう要請しても何ら返事がないという状況であり、したがって残りの約500万円を横領したと言わざるをえない、これをそのままにしておくのは問題だということで緊急動議が出されました。内容は「ガバナーが豊澤氏にガバナーエレクト時の決算報告をするよう求める」というもので、この件も全員賛成反対ゼロで可決されました。

幹事報告 (橋爪(誠)幹事)

1. 第35回RYLA研修セミナー開催の案内
2. 2016年手続要覧 誤表記について
正誤表と訂正シールの配布
3. 「ハイライトよねやま」(後方掲示)
4. 他クラブ例会変更 (後方掲示)

ロータリー友誌 (中元R広報委員)

*ロータリーの友誌4月号

☆横組み

- ・P3 RI会長メッセージ「ワクチンの素晴らしい効果」
- ・P14～P18 「女性会員で広がる多様性」
- ・P29 第2640地区 福井隆一郎ガバナー「対話で胸襟を開いた公式訪問」

☆縦組み

- ・P4～P8 女性ライフクリニック銀座院長 対馬ルリ子氏
「母子の健康」

委員会報告

- *親睦活動委員会(井上委員長)
親睦ゴルフの案内
平成29年5月28日(日)10時～
於)有田東急ゴルフクラブ

*会長エレクト(成川(守)君)

例会終了後、例会場にて次年度の各委員長会議を開催します。また、5/14(日)の地区研修会への参加もよろしくお願いいたします。

出席報告 (児島例会運営委員)

本日の会員数25名
(出席規定免除会員8名)
出席会員数23名
(出席規定免除会員8名)

92.00%

3/30 87.50%

MU:松村君、中村君、成川(雅)君

ニコニコ箱の報告 (上野山(捷)SAA)

松村君:宮井さん、石垣さん、本日卓話楽しみにしています。15分ずつで申し訳ございません。

橋爪(誠)君:石垣さん、宮井さん、卓話よろしくお願いたします。勉強させていただきます。

石垣君:つたない卓話をさせてもらいます。

宮井君:石垣君、本日の卓話ご苦労さんです。私も後程卓話させていただきます。

嶋田(崇)君:石垣さん、宮井さん、卓話ご苦労様です。

脇村君:石垣さん、宮井さん、今日はいつもの倍、楽しませていただきます。

井上君:お二人の卓話、楽しみにしています。

川口君:石垣様、宮井様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

橋爪(正)君:石垣さん、宮井さん、本日の卓話ご苦労さんです。

成川(守)君:石垣君、宮井君、卓話ご苦労さんです。

中元君:石垣さん、宮井さん、卓話よろしくお願ひします。

酒井君:石垣さん、宮井さん、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

中村君:石垣さん、宮井さん、本日の卓話楽しみです。良い味を出して下さい。

嶋田(ひ)君:石垣さん、宮井さん、卓話楽しみにしています。

橋本君:ルビー婚記念に家内と鳥取、島根を旅してきました。さくらが満開で心がさわやかになりました。

上野山(英)君:石垣さん、宮井さん、本日卓話ご苦労様です。

應地君:石垣さん、宮井さん、卓話楽しみにしています。

上野山(栄)君:石垣さん、宮井さん、熟年の卓話楽しみです。勉強させていただきます。

児島君:石垣さん、宮井さん、卓話楽しみです。

上野山(捷)君:宮井さん、石垣さん、卓話楽しみにしています。ご苦労さんです。

卓話

「最近思うこと・・・」



会員
石垣 洋介 君

私が入会したのは昭和53年4月で、今年で39年になります。成川会長エレクトと同期生で、先輩会員が亡くなったり、退会されたりで、現在入会順でいえば最長老に

なりました。

年齢も今年80歳になります。ロータリー会員の中では、宮井さんと2歳違い、児島さんと3ヶ月違いで3番目の長老です。

仕事の方はまだ現役で、今年で65年目になります。若い頃は主に船舶機械の部品製造や据付けが中心でしたが、昭和40年代頃(東京オリンピックの翌年)から、線香を製造する機械の製作や修理を手掛け、又、造船所の機械の据付けや部品の修理、石油精製工場や化学工場、製鉄工場等の部品の製作や修理をさせてもらっています。

お客さまの機械が故障して生産活動が止まってしまった時に、一刻も早く修理をして復旧させるのが私たちの務めです。しかし、最新の機械は精密になってきているので、修理するのもハイレベルな技術が要求されます。1ミリの1/100単位の仕事がほとんどです。現在、その仕事出来る職人さんは、私の所では一人しかおらず、就職してから55年になり、現在72歳です。その後継者が育っていないことが私の一番の悩みです。技術者を育てるのには最低5年から10年かかります。その職人さんが病気などで仕事が出来なくなれば、私の会社はたたむことになると思います。

そして、最近思うことは、時間の経過が早く感じられる事と、物忘れがひどいことです。昨今、高齢者の交通事故が多いため、交通法規が変わり、交通違反を起こした高齢者には、認知症検査が義務化されました。私自身も最近物忘れがひどいため、免許証を返還しなければならぬような事態になれば、大変だなあと考えております。最近AI(人工知能)が進化してきて、車の自動運転もあと5~6年で出来るようになるそうですが、それまでは、認知症にならないように頑張るつもりです。

今は長い間ロータリーでお世話になったことへの感謝の気持ちで(会費協力会員のつもりで)、何もできませんがお邪魔をさせていただいています。これからも、4つのテストと社会奉仕だけは忘れないようにして、頑張りたいと思います。

「少年時代の思い出あれこれ」



会員
宮井 清明 君

私の生まれは宮原町新町です。小学校、中学校も宮原です。35歳で糸我町へ住所が変わり現在に至って

ます。今日は太平洋戦争終戦前後の激動の時代を過ごした思い出についてお話させていただきます。

戦争が始まったのは1941年12月で、私は6歳の時でした。子どもだったのであまり記憶がありません。戦争がだんだんと激しくなるにつれて、もともと資源に乏しく輸入に頼っていた日本は、みるみる内に石油や鉄、その他兵器を作る資材が不足し、国の要請で家庭にある鍋や釜、その他鉄製品やお寺の釣鐘までも供出しなければならなくなりました。その当時、役場の広場には供出した鉄類が山積みにならされていたのを記憶しています。

1945年に入り戦争は一段と激しくなりました。本土ではB29の爆撃も多くなり、毎晩のように警報が発令されるようになりました。東京、大阪、和歌山、全国の大きい町はほとんど空襲で焼け野原になりました。東京にいた親戚は空襲で焼け出されたので、一年余り同居生活をしました。当時の記憶で一番恐ろしかったのは、東亜燃料が空襲で爆撃されたことです。警報が発令され防空壕へ避難したとたん、ドーンという大きな音と共に地響きがしました。恐る恐る防空壕から外を見ると、山の向こうの空が真っ赤に染まって見えました。東燃がやられたとすぐに理解しましたが、ドーンドーンというタンクやドラム缶の爆発する音がすさまじく、身震いが止りませんでした。

そして、私たちの生活に必要な物資が次第に不足していきました。米、塩、砂糖、衣料品、その他日用品も配給制になりお店から姿を消しました。主食の米は欠配、遅配ということもあったように思います。食事は朝晩がいも茶がゆ、昼はまめ飯や麦飯などをしばらく食べました。当時の食事は腹を満たすだけが精一杯で栄養などはあまり重視していませんでした。

1945年(昭和20年)8月6日、広島に、8月9日、長崎にそれぞれ原爆が投下され、8月15日無条件降伏し戦争が終わりました。そして、日本はアメリカの指導のもと、軍国主義を捨て民主主義を求めて平和な日本へ歩み始めました。

戦争の記憶だけでなく、少年時代の楽しい思い出もあります。家から300mほど行くと有田川がありました。唯一の遊び場所は有田川の河川敷でした。そこで友達とキャッチボールをしたり、そりを作って堤防を滑り降りたり、川で魚釣りをしたり、夕方遅くまで楽しく遊びました。4月中頃になると、有田川の水温が上昇し始めます。すると、海で育った稚アユが元気よく川を遡上し始めます。遡上してくるアユは5cmから6cmくらいの小さなものですが、毛針という釣針で仕掛けを作り、夕方日の沈む頃に1時間ほどかけて釣り上げます。50匹ほどいつも釣り上げていました。それを家に持って帰り、味噌煮にして夕食の一品にします。大変美味しかったです。この時期になるといつも思い出します。

私も超高齢者です。82歳になりました。皆様の足手まといにならないよう頑張りますので、これからもよろしくお願ひします。

閉会・点鐘 (松村会長)